

2023年度 福島県ソフトバレーボール全国大会予選会 開催要項

下記の全国大会に福島県代表として出場するチームを決定するため、この要項により予選会を実施する。

○全国レディース・フェステバル	愛知県 江南市（10月13日～15日） [出場枠： 1チーム]
○全国シルバーフェスティバル	青森県 弘前市（10月6日～8日） [出場枠： 1チーム]
○全国スポレク・フェスティバル	大分県 大分市（9月15日～17日） [出場枠： 1チーム]
○全国フリー・フェスティバル	熊本県 八代市（11月11日～12日） [出場枠： 1チーム]

- 1 主催 福島県ソフトバレーボール連盟
- 2 主管 いわきソフトバレーボール連盟
- 3 後援 福島県（公財）福島県スポーツ協会 いわき市教育委員会 福島民報社
福島民友新聞社 ※各後援団体へ申請中
- 4 オフィシャルボール (株)モルテン (株)ミカサ
- 5 期日 2023年5月28日(日)
- 6 会場 いわき市 内郷コミュニティーセンター
いわき市内郷綴町大木下28-1 TEL 0246-26-2271
- 7 日程 受付 8:30 代表者会議 9:00
開会式 9:15 競技開始 9:45
- 8 競技方法 予選種目毎に「予選リーグ・リンク戦」後「決勝トーナメント」を行う。
※参加チーム数により、競技方法の変更を行なう場合がある。

9 参加資格

(1) 共通事項

- ① 2023年度（公財）日本バレーボール協会及び福島県ソフトバレーボール連盟に登録されたチーム及びその構成員であり、年齢は（全国大会要項に基づく2024年4月1日現在）とする。「大会当日にJVAチーム加入選手一覧をダウンロードし持参のこと」
- ② 本大会で全国大会出場資格を得た場合、その大会への出場を辞退することのないチームであること。 ※違反チーム及び構成員メンバーは、13(4)を適用する。
- ③ チーム構成員の内2名以上は、マスターリーダーまたはリーダーの資格者であること。
- ④ 試合は相互審判（主・副審各1名・線審2名・記録員1名・点示員1名）で行う。
「※ 各チームで記録の研修をお願いします。」
- ⑤ 相互審判及び不測の事態が生じた場合でも棄権を回避できるよう、6名以上で参加すること。
※大会当日、選手構成条件に満たないチームは棄権とみなし、13(4)を適用する。
- ⑥ 監督及びキャプテンは監督マーク、キャプテンマークを所定の位置に付けること。

(2) 各全国大会種目別選手構成

- ① 全国ソフトバレー・レディースフェステバル
・コート内には常に社会人であって18歳以上の女性2名と40以上の女性2名でプレーしなければならない。18歳未満であっても義務教育課程を修了し、社会人として就業している場合参加を認める。

- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成
- ②全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル
 - ・コート内には常に50歳以上、60歳以上の男女各1名の4名で競技すること。
50歳以上の年齢区分に登録される60歳以上の選手は、フェスティバル期間中60歳以上の年齢区分の構成員に変更することは出来ない。
 - ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成
- ③全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル
 - ・コート内には常に40歳以上、50歳以上の男女各1名の4名で競技すること。
 - ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成
40歳以上の年齢区分に登録される50歳以上の選手は、フェスティバル期間中50歳以上の年齢区分の構成員に変更することは出来ない。
- ④全国ソフトバレー・フリーフェスティバル
 - ・コート内には常に18歳以上の男女各2名の計4名で競技すること。
 - ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成

10 表彰 全国大会出場チーム推薦書をもって表彰とする。

11 参加料及び登録料

- (1) 参加料 1チーム 2,000円
大会当日の受付時に納入すること。ただし、申込後に棄権した場合も参加料の徴収は行います。
- (2) 登録料
日本バレーボール協会 個人登録料 一人1,000円
福島県ソフトバレーボール連盟 個人登録料 一人500円・チーム登録料 1チーム 1,000円
※ 所定の登録は大会参加申込み締切日までに完了していること。

12 申込み方法 別紙参加申込書に必要事項を記入し、締切日までに **郵送** にて送付すること。

《送付先》 〒969-1153 本宮市本宮字塩田入74 野内秀夫 気付

福島県ソフトバレーボール連盟 TEL 0243-33-6250

《申込締切日》 5月2日(火) 必着(期日厳守のこと)

13 その他

- (1) 監督は選手を兼ねることはできるが複数チームの監督及び選手を兼ねることはできない。
- (2) 相互審判で運営するため、リーダーのワッペン、ホイッスル(長・短)を準備すること。
- (3) 大会時の傷害について、応急手当は主催者側が行なうが、それ以後の責任は負わない。従って、参加者はスポーツ傷害保険に加入のうえ大会に参加することが望ましい。
- (4) 参加申し込み後に棄権したチームは理由書を提出すること。理由書の内容によりチーム及び構成員へ以下の処分を決定する。
①文書による警告 ②次期大会への出場停止 ③1年間大会への出場停止
- (5) ソフトバレーボールの大会は、参加者全員による「準備」「運営」「後片付け」を協力して行うこと。

14 コロナウイルス感染症対策として

- (1) 参加者の健康状態を確認するため、県連盟指定の感染対策チェックリストを代表者会議時に提出すること。
- (2) マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とするが、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行を徹底すること。